

特別支援学校との教育・福祉連携の取り組み（川越特別支援学校の場合）

川越特別支援学校の取組

埼玉県内で最も歴史のある特別支援学校で、小中高等部併せて約300名の児童生徒への教育活動に取り組んでいる。強度行動障害のある児童生徒も在籍し、学校内での取り組みに加え、特別支援教育コーディネーターを中心として、在宅で大きな負担や悩みを抱えている家族等の支援に積極的に取り組んでいる。

職員派遣によるサポート内容

1. 校内研修会での強度行動障害に関する講義を実施
2. 強度行動障害様相のある生徒に関わる担当教員からの悩み相談
3. 対象生徒に関わる学校主催の支援会議への協力

当学園における特別支援寮（強度行動障害様相が特に強い児童を短期間受け入れ、支援を整えた上で地域に支援内容をフィードバックする取り組み）においても様々な面でご協力頂いており、相互互換関係のある連携パートナーとして心強い存在です。

【具体的なサポートの内容】

基礎知識の理解

1. 校内研修会

- ①強度行動障害の基礎的理解に関する講義
- ②自閉症への支援方法（標準的支援内容）に関する講義
- ③特別支援寮での実際の支援内容に関する事例報告（具体的なイメージを深めることを目的）



実支援方法の検討、実施

2. 悩み相談

実際の生徒の教育活動の様子を観察し、アセスメントした内容を教員にフィードバックして、今後の具体的な取り組みについて、教員と一緒に検討を行う。

支援チーム、支援体制への関与

3. 支援会議への協力

家族、福祉機関等が加わる中、主に支援の考え方、方向性に関する見地から助言を行う。特に家族に対しては、成人期の生活のイメージについて具体的説明を行う。

家族、学校、関係機関が同じ方向性を共有し、支援チームとして連携を深める。

地域の支援体制づくりの推進

職員派遣事業では、強度行動障害支援のエキスパートである特別支援寮の児童指導専門職や心理療法士等の専門の各療法士も在籍しており、ご要望内容に応じて職員を派遣することができます。

教育機関に限らず入所施設や地域の障害福祉サービス事業所、児童に限らず成人の支援機関であっても制限なく利用できます。

派遣にあたっては、一事業所に限定されず、（自立支援）協議会や自治体の担当者の方も巻き込んで頂き、地域全体に対するアプローチを図り、強度行動障害への支援体制構築、地域づくりに寄与することができればよいと考えています。

ぜひご活用ください。